

熱中症による死亡災害発生状況（平成6年～平成28年）

岩手労働局

| 番号 | 署別 | 業種 | 発生月 | 曜日 | 性別 | 年代 | 災害発生の概要 |
|----|----|------------------------------|-------------|----|----|-----|---|
| 1 | 盛岡 | 建設業 (鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業) | 平成6年 8月 | 水 | 男 | 60代 | 炎天下でマンション工事のスラブ鉄筋配筋作業中、日射病となり治療を受けていたが、12日後に死亡した。 |
| 2 | 一関 | 林業 | 平成11年 7月 | 木 | 男 | 20代 | 下刈り作業中、昼時間になっても休憩場所に戻らないので作業場所に見に行ったところ、意識混濁で発見され、病院へ搬送したが、同日死亡した。(推定原因:熱中症) |
| 3 | 盛岡 | 建設業 (その他の建設業) | 平成13年 5月 | 火 | 男 | 60代 | 送電線に近接する支障木の伐木を行っていたところ、熱射病により死亡した。 |
| 4 | 二戸 | 建設業 (その他の土木工事業) | 平成22年 7月 | 月 | 男 | 50代 | 橋脚の修繕工事現場において、休憩時間となり休憩場に行く際に、被災者が余った材料を抱えて階段を降りていたところふらついていたため、休憩場に寝かせて体を冷やす等の措置を行っていたが、その後、被災者が道路の方へ歩き道路上に倒れたことから、救急車で搬送したが、熱中症により死亡した。 |
| 5 | 宮古 | 商業 | 平成22年 7月 | 水 | 男 | 50代 | 故障したトラックの修理のため走行後のエンジンの上に跨った状態の高温下で故障個所のアーク溶接を行い、作業を終えて事務所に戻り自分の席に座ったところ、急に呼吸を乱して意識を失い病院に搬送されたが熱中症により死亡した。 |
| 6 | 一関 | 建設業 (木造家屋建築工事業) | 平成24年 7月 | 火 | 男 | 30代 | 家屋の基礎の型枠加工組立て作業において、休憩中の被災者がふらついていたため現場内で休ませていたところ、被災者の呂律が回らなくなり痙攣し始めたため、救急車で病院に搬送したが、翌日に死亡した。 |
| 7 | 宮古 | 接客娯楽業 | 平成27年 6月 | 金 | 男 | 30代 | 海外研修中、40度以上の高温環境下で熱中症により死亡した。 |
| 8 | 花巻 | 商業 | 平成28年 8月 | 日 | 男 | 20代 | 屋外の展示場における洗車・清掃等の作業中に頭痛を発症し、帰宅後、就寝したが、死亡した状態で翌朝発見され、死因は熱中症とされたもの。 |